

## 逆流性食道炎とは？

小城市民病院

内科 福山 浩二

胃がん検診、大腸がん検診のように胃や腸の病気は気になっても意外と食道は気にされないこともあるようです。今回は逆流性食道炎について書かせていただきます。

逆流性食道炎は、胃酸の逆流により食道が炎症を起こし、胸やけがする、のどに苦い水が出る、のどに違和感があるなどの症状のある病気です。症状がさほど差し迫ったものでないためか、症状がありながら受診に至らない方も多いようです。

胃は粘液を出して自分自身を胃酸から守っています。胃酸は間違つて飲み込んだ十円玉が胃内ではピカピカになるほどの強い酸です。食道には粘液を出して身を守る機能がないため、胃酸の食道への逆流は食道の炎症を引き起こします。この炎症が長く続くと食道癌の原因にもな

ることが知られています。

逆流性食道炎は、以前は欧米人に多く、日本人には比較的少ないと言われていました。しかし平均寿命の延長、食生活の欧米化により日本でも増えてきており、注目の病気となってきました。

一度にたくさん食べる、アルコールや油ものが多い、食後にすぐ横になる、ベルトや下着で腹部を圧迫しがちななどの生活習慣や太っている、腰が曲がっているなどの体型も、この病気の発症、悪化に深く関係しています。

発熱や痛みなどと違い、症状が軽く思われがちで気にならなくても受診に至らないケースも考えられますので、思い当たる症状のある方には、食道の炎症の有無を調べるために内視鏡検査（胃カメラ）をおすすめします。

生活習慣の改善と適切な治療（主に胃酸を抑える薬の内服）で症状軽減や治る可能性が期待できます。

## 小城市民病院では子宮がん検診・乳がん検診を行っています

子宮がんは40～50歳代の女性に最も多くみられますが、最近では20代でも子宮がんになる人が増えています。乳がんは日本人女性における患者数が最も多いがんで、20人に1人が乳がんになると言われています。30歳後半から急激に増え、40歳後半で最も多くみられます。子宮がん・乳がんは早期発見と適切な治療により、治癒が望めるがんです。定期的に子宮がん・乳がん検診を受け、ご自分の健康管理を行いましょう。

### 検診ではこのような検査をします

#### ○子宮がん検診

問診、視診、内診、細胞診

#### ○乳がん検診

問診、視診、触診、マンモグラフィ

※当院では乳腺超音波検査も行っています。

※当院でのマンモグラフィは原則として女性認定技師が行っています。

乳がん検診は予約制となっています。

受診される前に当院までご連絡ください。



産婦人科では通常の診療に加え、毎週火曜日に夕方診療を行っています。乳がん検診をご希望の方は、必ずご予約の上受診してください。詳細については当院へお問合せください。（夕方診療：17時30分～19時 受付：18時30分まで）

【問合せ】 ☎73-2161 小城市民病院 担当 辻